

下川口地区 老・朗 支え合い事業

概要

高齢化率が47.7%を超えた地域においては、自分たちの生活を支え、自分たちのまちを守っていくのは高齢者自身である。元気な高齢者が作った農作物を、元気な高齢者や女性たちが調理し、支えが必要な高齢者に提供する『食』の循環のしくみをつくり、地域の中で朗らかに支え合える地域づくりを目指す。

事業の内容

事業の内容

高齢者への配食事業

地域の高齢者が栽培した野菜や農家のハネもの野菜を利用して、地域女性グループが調理。独居高齢者、高齢者世帯宅に届けるサービスを実施

直販所への集出荷事業

庭先で野菜を栽培している高齢者宅への巡回集荷から、市街地にある直販所へ配送するサービスを実施

地域ふれあい喫茶事業

地域内の高齢者や子ども、若い親子まで誰でも気軽に集い、コミュニティーの場となる地域ふれあい喫茶事業を実施

総事業費

10.0百万円

ポイント

- ・受け身側だった『高齢者』をまちづくりの主役側に活かしていく。→ 庭先菜園で作った野菜を販売、また配食やふれあい喫茶等にも提供することで、“まだまだ現役”意識をもってもらう。
- ・『女性』パワーを活かす。→ 高齢者のニーズ調査段階から地域の女性たちに関わってもらうことでお互いに顔が見える関係になり、配食事業だけではなく日常の見守り意識、地域で支え合う意識をもってもらう。
- ・NPO法人との共同を活かす。→ 地域内で活動を展開しているNPO法人に関わりを持ってもらうことで、住民側、NPO側もお互いが協力、利用しあえる関係をつくる。

事業の成果

- ◆高齢者が趣味で作っている野菜等を販売(小遣いになる)するしくみを作ることで、楽しみ・元気づくりに繋がっている。
- ◆配食事業により、高齢者の低栄養管理が出来るとともに、孤立している高齢者宅へ定期的に訪問配達することで、見守りに繋がっている。
- ◆日頃から地域内で福祉活動をしているNPO法人職員を活用することで、野菜の集配や配食にかかる人的コストの削減が図られ、継続性を持った事業に繋がっている。

高知県土佐清水市



配食事業



集出荷事業



ふれあい喫茶事業

